

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	美術2				
教科	芸術科	時間数	1時間	学年・コース	中学2年 全クラス
使用教科書	美術2・3(光村図書出版)				
副教材等	手の芯材、粘土、アートガラスフレーム時計				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
 ②自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
 ③主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	オリエンテーション 粘土で手を作ろう		10月	一点透視図法	
5月	粘土で手を作ろう		11月	一点透視図法	
6月	粘土で手を作ろう		12月	一点透視図法	透視図法作品 コンセプトカード 鑑賞会カード
7月	粘土で手を作ろう	手のデッサン作品 手の粘土作品 コンセプトカード 鑑賞会カード	1月	時計盤のデザイン	
8月	夏休み課題 (テーマ：キャラクターデザイン)	夏休み作品 コンセプトカード 鑑賞会カード	2月	時計盤のデザイン	
9月	一点透視図法		3月	時計盤のデザイン	時計盤作品 コンセプトカード 鑑賞会カード

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [構成力や技法等、作品を作る上での基本的な知識をもとに評価。]
 ② 思考・判断・表現 [表現の意図と工夫、作品を作る上での表現方法をもとに評価。]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [普段の授業態度や、鑑賞会カードでの内容をもとに評価。]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します